

ナナとハチ

ちきゅうにおちてきたネコのものがたり





ナナとハチ



ちきゅうにおちてきたネコのものがたり

むかしむかし、ある山里での出来事。

ゴンロクじいさんと、10歳の女の子、ナナのところへ宇宙からネコが落ちてきました。

ゴンロクはそのネコ、ハチとは数十年ぶりの再会とのこと。ところがハチは、前に会った時から歳をとっていないようにみえます。

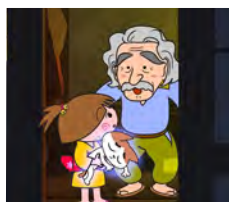
いったいどういことなのでしょう？ 二人と一匹は仲良く暮らし始めますが、やがて悲しい別れの時がやってきます。

ちょっぴり切ない時間の不思議が織りなす昔ばなし。

約 20 分

むか〜しむかし…

ある山里の一件家での夜。ゴンロクとナナがわら仕事をしていると、外が一瞬青白く光りました。ふたりが何だろうと思って戸をあけてみると…。



ネコがおちてきた！

そこにいたのは、青く光る一匹のネコ。ゴンロクは思わず「ハチ！」と呼びました。「どうしてこの子のなまえを呼ぶたの？」と不思議がるナナ。



ゴンロクの回想

「わしが子どもの頃、同じように家の庭にネコがおった。ハチという名をつけて飼うことにしたんよ。ある日ハチ



ハチは宇宙猫？

が、わしの顔をじっと見つめて出かけて以来、何十年も戻ることはなく、今に至るというわけよ。」「ハチってなんさいくらいだろう？」「わからん、不思議なことにハチは歳をとらん。」

どうしてハチは歳をとらないのでしょうか？もしかしたら、ハチの周りでは、ゴンロクたちとは違う時間が流れているんじゃないかしら。ハチは宇宙猫。とっても早いスピードで宇宙をかけめぐり、時にはすごく重い場所、**ブラックホール**に近づいたりします。ハチにとっての時間は、地球の時間と比べると遅く流れているのかもしれない。



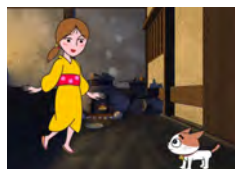
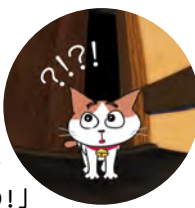
二人と一匹は仲良く暮らし始めました

ハチはナナからお気に入りの鈴を一個わけてもらいました。それから、ゴンロクとナナとハチの二人と一匹は、仲良く暮らし始めました。そして時折ハチは、出かけては空に飛び出し、宇宙をかけめぐるのでした。



ハチ、7年ぶりに帰ってくる

ある日、ハチは、いつもより早いスピードで宇宙をかけまわってみました。そしていつものように帰ってみると…。知らない女の人が立っていました。



た。「ハチ!どこ行ってたの!」

それは17歳になったナナでした。ハチにとってはたった数日のお出かけも、ゴンロクとナナにとっては7年もの歳月だったようです。「ハチ、これ以上、遠くへ行くと、もう帰りを待ちきれんぞ。あんまり遠くへ行くなよ」「そうよ。あんまり遠くへ行っちゃだめよ。」と心配する二人。

ハチ、また出かける

ある日、ハチは、ナナの顔をじっと見つめて出かけてます。ゴンロクは昔を思い出し、寂しさがこみあげてきました。



ハチ、ブラックホールに近づく



宇宙に飛び出したハチは、惑星間飛行や恒星間飛行、星雲間飛行を楽しみながら、未知の惑星まで飛んで行き、メスネコにも出会います。そしてとうとう**ブラックホール**に近づいてしまいました。

今、ハチにとっての数分は、地球での数十年かもしれません。

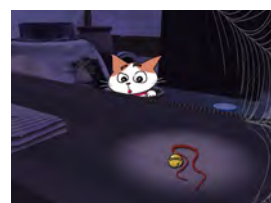
山里の時間のうつりかわり

ハチが出かけてから、山里ではどんどん時間が過ぎて行きました。ハチの帰りを待ちわびていたナナも結婚し、子どもも生まれ、そしてみんな歳をとって行きました。やがて…。



ようやく地球に戻ってきたハチ

ハチが出かけている間に、地球では長い時間が経ってしまったようです。家に戻ってきたハチは、何だかいつもと違うように戸惑います。そこでハチが見たものは…？ナナやゴンロクはどうなったのでしょうか？



声の出演 (青二プロダクション) ナレーション: 柳沢三千代さん ゴンロク: 池水通洋さん ナナ: 佐藤朱さん ハチ: 静岡のハチ・ロッキー・ニケ
脚本・選曲・サウンド編集: 鷲巣 亘 CG: 藤井 昇 編集・CG・背景: 福留政彦 キャラクターデザイン・アニメーション: 塚田洋子 制作協力: (株) エーディマック